

平成28年度事業報告

1. 受託事業（福井県から）

事業名	仕様(回数・期日)	内 容
広報誌 「あっとほうむ」 の作成	A4判8ページ 6・10・1・3月発行 100,000部 カラー4色刷	197～200号を発行。国の原子力政策に対する県の要請のほか、電気事業者が取り組む安全対策の状況、40年超原子力発電所の運転期間延長申請などについて解説し、立地及び周辺10市町の全世帯と県内学校や公民館ほか関係機関等に配布した。また、各号の点字版とCD版も作成し、目の不自由な人たちにも配布した。
一般対象 放射線体験教室等 の開催	66回実施 館内教室 65回 出張教室 1回	広く県民に放射線を正しく理解してもらうため、専門講師による放射線体験教室を館内で65回、出張は鯖江市で1回開催した。参加者は館内教室が14,365人、出張教室が138人、合計14,503人。
学校対象 放射線体験教室等 の開催	46回実施 館内教室 21回 出張教室 25回	県内小中高等学校を対象に「放射線体験教室」を館内で21回、出張で25回開催した。基礎知識セミナーや霧箱装置等を使った放射線の観察、測定器を使った自然放射線の測定体験などを実施した。出張の地域別内訳は、越前市(8回)、福井市(4回)、坂井市(3回)、大野市(2回)あわら市(2回)、鯖江市(2回)、小浜市、越前町、美浜町、若狭町。参加者は、館内教室が947人、出張教室が1,344人、合計2,291人。
エネルギー 体験教室の開催	105回実施 館内教室 36回 出張教室 69回	県内小中高等学校を対象にいろいろな発電模型などを使った「エネルギー体験教室」と劇団員による「エネルギー演劇」を館内で36回、出張で69回(実験68、演劇1)開催した。出張の対象別内訳は、小学校65回、養護学校4回。地域別では福井地区28回、嶺南地区16回、丹南地区14回奥越地区8回、坂井地区3回。参加者は、館内教室が1,945人、出張教室が3,912人、合計5,857人。
講演会の開催	2回実施	「これからの日本はどうなる～再生可能エネルギーの現状と将来展望～」をテーマに講演会を2回実施した。 1) 10月21日(会場：福井市地域交流プラザ、参加者40人) 2) 10月29日(会場：原子力の科学館「あっとほうむ」、参加者44人) 講師：井上浩義氏(慶應義塾大学)
原子力講座等 の開催	52回実施 館内講座 51回 出張教室 1回	原子力やエネルギーをテーマにした原子力講座を館内で51回、出張は鯖江市で1回実施した。対象別では一般44回、学生8回(小学生2回、高校生2回、大学生4回)。参加者は合計2,687人。
福島原発事故関連 情報コーナーの更新	通年	福島第一原子力発電所事故の概要や経過、県内各原子力発電所の安全確保対策の状況などについて情報を随時更新した。
放射線&エネルギー クイズラリーの実施	77回実施	親子対象に放射線やエネルギーの基礎知識を学んでもらうクイズラリーを、館内で開催のイベント時に実施した。参加者は合計22,945人。
エネルギー学習 バスの実施	33件実施 (46台)	当センターと県内エネルギー関連施設を見学した小中高等学校に対しバス借上げ料金の一部を補助した。参加者は合計1,678人。
科学実験教室 の開催	254回実施 館内教室 221回 出張教室 33回	県内の公民館などに出向いたり、当センターに来館した児童や生徒に対して科学実験教室を開催したほか、4月～11月の土・日・祝日には館内で1日2回ずつ実験と工作教室を221回開催した。 出張教室の内訳は、対象別では公民館8回、児童館14回、子供会6回保育園等5回。地域別では嶺南地区10回、福井地区9回、丹南地区8回坂井地区5回、奥越地区1回。参加者は館内31,195人、出張は1,375人合計32,570人。
きっずパーク の開催	65回実施	LEDやモーターを使った電子工作教室や自由研究ヒント教室等を夏休み期間中に実施した。参加者は合計5,636人。
エネルギー学習 教室の開催	43回実施	エネルギーについて正しく理解してもらうため、再生可能エネルギーに関する実験等を通して学習する発電キット工作や簡単工作教室、体験教室やクイズラリーを、館内で43回開催した。参加者は6,221人。
インターネット による情報発信		ホームページで、県内の原子力情報などを随時更新し提供した。また新規の広報誌や冊子、映像などを掲載した。

2. 自主事業

事業名	仕様(回数・期日)	内容
エネルギー体験教室紹介映像の制作(新)	3分・30秒 4種類	エネルギー体験教室で行っている学習指導要領に沿ったプログラムについて紹介映像を4種類制作し、HPで掲載した。また、ダイジェスト版も制作し、広報誌「あっとほうむ」や館内掲示の壁新聞などにQRコードを掲載した。
廃炉関係の情報コーナーの設置(新)	通年	県行政・自治体の対応や県内事業者における計画や取り組み状況について、映像やパネル等で最新情報を随時更新し、来館者に分かりやすく解説・提供した。
開館40周年記念イベントの実施(新)	10月8日	原子力の科学館「あっとほうむ」の開館40周年を記念した企画展等のセレモニーイベントを開催した。また、10年後の自分や家族へ書いた手紙を入れたタイムカプセルの埋設式も実施した。
あっとつうしんの作成配布(9・12・2・3月)	A3判 年4回発行 1,000部	広報誌「あっとほうむ」の企画ページ(小学生対象)と連動させた内容で、科学の基礎知識や簡単な実験方法(QRコード付)を掲載したポスターを発行し、学校や公民館等に掲示した。
春休みイベントの開催	4月1日～6日	自然とのふれあいをテーマに科学工作教室や科学体験教室などを開催した。参加者は合計6,888人。
こどもの広場の開催	4月29日	電気事業者とエネルギー体験イベント「こどもの広場」を共催し、エネルギークイズラリーやスペシャル実験ショーなどを開催した。参加者は2,514人。
GWイベントの開催	4月30日～ 5月8日 (2日、6日を除く)	ゴールデンウィーク期間に、エネルギーなどについて親子で体験学習してもらうイベントを開催した。参加者は合計12,475人。
夏休み体験教室の開催	7月16日～ 8月28日 (7月19、20日を除く)	エネルギーや電気、放射線などについて親子で体験学習してもらう教室を開催した。また、は虫類・両生類展やふれあい昆虫展などを開催した。参加者は合計42,937人。
スペシャルイベント等の開催	年5回実施	第3日曜日の家庭の日をスペシャルデーとし、館内で科学の体験学習イベントを実施した。 ① 6月18・19日に「アクア」をテーマに開催。9,800人参加。 ② 9月17～19日に「ふしぎ」をテーマに開催。13,048人参加。 ③ 10月8～10日に「元素」をテーマに開催。9,710人参加。 ④ 11月12・13日に「キッチン」をテーマに開催。4,560人参加。 ⑤ 3月4・5日に「科学のおもちゃ」をテーマに開催。7,201人参加。
エネルギー・環境の基礎知識普及事業の実施	3月18～20日 3月25～31日	再生可能エネルギーを含めた各エネルギーの基礎知識を正しく理解してもらう体験教室や工作教室を開催した。参加者は、合計15,340人。
出張ワークショップの開催	年11回実施	県内の各自治体が主催するイベントなどに出張し、原子力や電気・エネルギーに関する体験型のワークショップを11回開催した。地域別内訳は、嶺南地区6回、丹南地区2回、福井地区1回、坂井地区1回、奥越地区1回。参加者は合計4,561人。
各種広報機関及び科学館との連絡会の開催		県内4立地市町と4電力事業者の原子力広報担当者との連絡会を開催し、事業運営等の連携を深めた。また、全国の原子力広報機関連絡会の開催及び全国科学館連携協議会主催の研修会に参加した。

事業報告の内容を補足する重要な事項がないため、事業報告の付属明細書は作成していない。